

アマダイ通信NO. 66b

(Tile fish network letter)

08年花瑞樹咲き、藤ほころぶ

知人・友人各位

今年も花を賞でることができましたが、皆様は如何でしたでしょうか？5年前に大腸がんを手術。まさかりンパ腺に3箇所も転移し、Ⅲbという殆ど治癒する見込みがないステージだとは露知らず、外出許可を貰い、新宿御苑で「願わくば桜の花の木の下で」などと、暢気にノンアルコールビールを飲んでいました。アルコール分ゼロだと信じて。

あれから5年、奇跡的に？癌も完治、本通信も号を重ね、部数も3千を越えました。物好きな！と思いつながら、今更やめられず、もう焼くそ！？ズッコケ人生の笑いを提供した上、人脈作りと営業に多少は貢献しているようです。食べて行ける内は続けようと思います。宜しくお願い致します。

◎ゴルフは時期尚早・・・弘前の？桜の花の散る頃までは

2月29日（金）午後、如水会館で三鷹寮先輩のDOWAホールディングス吉川会長、東芝西田社長の毎日新聞経済人賞受賞式に出席する。審査委員長はS25年入寮、1期生のエコノミスト竹内宏さん。S37年入寮の阪和興業北社長、秋田銀行東京支店長、秋田県東京事務所長も出席、ウッドプラスチックパレットの「営業」も。昭和37年入寮組の北、吉川両先輩に、昭和33年から35年の「60年安保」世代、39年から43年の「70年安保」世代はそれぞれ同期会を楽しんでいると話すと、昼酒の勢いで？37年入寮組の同期会もということに。会場はDOWAの子会社、藤田観光の目白の椿山荘でいい、同期の寮委員長の日立建機の山内勇二さん、日清紡の岩下社長にも呼掛人になってもらい、1年上の寮委員長の元衆・参両院議員の浜田卓次郎弁護士にも声を掛けよう。名簿と案内状の雛形があるので発送は●事務所ですと、同期会の手伝いすることに。

パーティーが終了するとおでん種やビールを買い、久振りの事務所での寮生とのコンパの準備。春休みで田舎に帰ったり、バイトで忙しかったりと集まりが悪く若者7人、年寄りは三鷹クラブの平賀代表と、途中参加のウッドプラスチックテクノロジー（WPT）社長の原島君を入れ3人。いつもより少ないが、愛があるなら年の差なんて！？とばかりに、手作り？おでん、宅配のピザ、寿司で11時近くまで、世代を超えて団論風発する。

翌朝整形外科へ。1月19日（土）に、奥利根の宝台樹スキー場で左足ふくらはぎ三頭筋を一部断裂、3週間でギブスが取れ、4週間で杖も不要に。杖なしで歩けるから、スキーは暫く無理でもゴルフは大丈夫、寮で1年下で、共にメンバーでもある文科省OBの伊勢呂裕史君や農水省OBの小畑勝裕君、アスキングの女社長の青野さん、乗り換え案内のジョルダン佐藤社長や、娘にも声を掛け、翌週から4週連続、ホームコースの小川カントリーを予約する。医師に4週連続ゴルフを予約したことを告げ、翌週土曜日のゴルフが可能か？お伺いを立てる。が、一週間早い、おんぶされて帰ることになりますよ、完全に直りませんよと脅され、翌週のプレイはキャンセルする。

次の土曜日、取敢えず今週のゴルフはキャンセルしたんですが、いつ頃からプレーできるでしょうか？医師にお伺いを立てると、桜の花が散るまでは駄目ですね、弘前の桜かも

知れないよ！と、連休明けまで？のゴルフ禁止宣告。当然スキーはもっと先になり、楽しみにしていた留学生とのスキーも今シーズンは無理。以来、脳弱体強の汚名を返上せんと、土日は大人しく小平の図書館で経済誌や総合誌を読み漁り、インプットに努める。

◎三鷹寮40・41年合同会（11回）のご案内

昨年6月1日に開かれた第10回40年・41年合同会は、40年38名・41年12名合計50名が参加し、居合わせた駒場寮の先輩も飛び入り参加、新墾（にいほり）等の寮歌も歌い、大いに盛り上がりましたが、それから早や1年を経過しました。

そこで、旧交を暖めるべく、今回も40年会と41年会を合同で下記のとおり行うことにしましたので、奮って参加されるよう、ご案内いたします。場所は例年と同じです。

なお、昨年、次回から夫人にも参加を呼び掛けてみようということになりました。今回は試みに夫人にも参加を呼びかけますので、お誘いください。

尚、出欠の御返事は、Eメール又は同封の葉書で、遠藤（40年）、干場（41年）まで。

日 時 6月6日（金） 午後6時

場 所 トップ オブ ザ スクエア 宴（千代田区大手町1-5-1 大手町ファーストスクエア23階 電話3217-0779）

会 費 1万円（十連絡費500円） 但し、夫人は半額5000円。

呼掛人 40年 宮原耕治・遠藤昭 41年 小林政秀・森下尚治・干場革治

◎白神の産品を味わっています！・・・ミサワホームグループ時代の同僚より

ミサワホームイング東京(株) 営業推進部 笠松隆司

前回の通信に載せてありました「相模原市場」は私の自宅から3分くらいのところにあります、ジャスコ、ヨーカ堂等16号線の激戦区の中で、生鮮食品中心に生き抜いている雰囲気です。私たち家族も週末はまず「市場で買って」、それから巨大スーパーに紛れ込みます。能代の「豆腐」は大豆の香りが今ではめずらしく香る商品ですよ、少しですが貢献しております。

※ありがとうございます。相模原周辺にお住まいの方は、是非、「相模原市場」で故郷、白神の産品を味わってみてください。

◎田舎の学校、初夏の白神教室③・・・受付即満員御礼

今回は山本町のじゅん菜沼でのじゅん菜採り、海から白神山地眺望の白神クルーズを新しく組込み大人気。3月10日、申込み受付と同日に満員。☘もメールで参加を募り、応援する積りでいたのですが、嬉しい誤算。この冬、能代からの帰りに擦れ違ったビュートレイン白神も満員。地元暮らしには辛い冬の白神も、よそ者には新鮮な感動を呼ぶのでしょう。小さな船で腰を屈めるじゅん菜採りも採り手の減少と衰退が言われますが、観光化することで活路を開けるかも知れません。

そんな故郷へ、3月15日の土曜日、三鷹クラブ大阪講演会の翌日、久し振りに伊丹からプロペラ機で飛ぶ。伊丹空港へはどうやっていく？携帯の乗換案内で大阪～伊丹を検索。JR福知山線経由の表示が出る。前は阪急に乗ったよな？やり直し。梅田から伊丹まで30分かからない。10時55分発で12時半大館能代空港着、9時半にホテルを出れば十分。どの

電車に乗ればいい？7番ホームの電車で塚口乗換えと駅員。10時過ぎ伊丹に。空港の表示がない。空港は？駅員に聞く。バスで15、6分、6番バス亭です。バス亭の時刻表を見ると次のバスは18分発。ギリギリだ！タクシー乗場へ。空港は豊中です。阪急なら宝塚線で蛍池まで行き、モノレールかバス乗継ぎ、タクシーでもワンメーターと運転手。1700円払う。ぶ厚い雲を突き抜けると、雪の中に小さな空港が浮かぶ。

◎加賀谷さん（オリエンタル白石）、吉田さん（古河電工）社長昇任おめでとう！

3月決算と一緒に会社の新しい人事が発表される季節になった。昨年は能代高校同期の小野寺研一君が三鷹寮の大先輩の高島さんの後を継ぎ、住友不動産の社長になったが、今年も知人が二人、東証1部上場会社の社長に指名された。●がフリーターを卒業、40歳でサラリーマンを始めた時のミサワホームグループのホームイング(株)の同僚、加賀谷正之君が、転職先の建設会社オリエンタル白石の社長に、三鷹寮の後輩（S43年入寮）の吉田政雄君が、電線御三家、名門古河電工の社長に昇任する。

コンクリート製橋梁を製造・施工するオリエンタル白石は、公共事業投資が減る中で、営業赤字が続く。経理畑出身の加賀谷さんが会社建て直しを託された。併せて、公取法による談合規制が強化され、道路特定財源の一般財源化に象徴されるように、道路建設予算の更なる減少も不可避と、ビジネス環境が激変する中で、生え抜きとは違った発想からの、新規事業の拡大を期待されているのだろう。大変だろうが、頑張ってください。

プラスチックと大鋸屑から新素材を作り、搬送用パレットに仕立てるウッドプラスチック(株)も東大エッジキャピタル、センコン物流、阪和興業等から3月末で1億8千万円の出資を得、本郷に新しい事務所も確保して、業務をスタートさせた。ここへ来るまでに、オリエンタル建設にも出資を検討していただいたが、新素材は建設分野での利用も可能なので、加賀谷新社長と一緒に仕事ができる局面が訪れると嬉しい。

◎日本人との付き合い方・・・中国でことを進めるために

高見邦雄（緑の地球ネットワーク事務局長）「黄土高原だより」(NO.453)より
(●も理事をしている、緑の地球ネットワーク（GEN）が中国山西省大同市の農村で緑化協力をはじめて16年目。その間のできごとや自分の思いを書きつづる。)

共青团大同市委員会副書記で、初代の緑色地球ネットワーク大同事務所長だった祁学峰とは、4年余り兄弟の様に活動した。大同に年100～120日は滞在したが、その間ほとんど24時間一緒。農村部では一番条件のいい宿泊施設が県の招待所だが、それでもお湯は短時間しか出ず、夜間は水もストップ。その他に農家や郷政府などに泊まることも多かった。よく議論し、口論になることも少なくなかった。現場でそれを長く続けていると、考え方も似てくる。王萍が真ん中で通訳しますが、2人同時に話した時に、「2人とも同じこと言ってます」と言ってすますので、「ああ、この通訳はラクでいいな」と言って笑ったものです。彼らの奮闘があり、私たちの協力事業は中国国内でも、次第に評価されるようになりました。日中緑化交流基金（いわゆる小淵基金）ができ、緑化協力のプロジェクトが急増しました。どうやったらいいか、中国側でも手さぐりだったので、大同のプロジェクトはひっぱりだこで、あちこちの中国側の会議で、祁学峰が経験を発表したのです。

日本人と、どのようにつきあうのがいいか、彼は、つぎの4点にまとめました。

1) 誠実につきあう。

双方の関係は平等であるべきだし、自分の本当の気持ちでつき合わないといけない。形式的なつきあいをしているだけでは、いつまでたっても相互の理解が進まない。誠実につきあうことは協力関係全体の基礎である。

2) バランスをとる。

協力する双方は車の両輪の関係である。置かれている立場が違うから、当然自分の主張はすべきである。場合によっては激突、ケンカも必要になる。しかし最後には、相手の立場をも理解しあいバランスをとる必要がある。いい関係をつくるカギはバランスにある。

3) 真面目に仕事をする。

仕事は真面目にしないとダメ。馬馬虎虎（マーマーフーフー・いいかげん）ではいけない。これは態度の問題である。

4) 苦勞を厭わない。

苦勞を厭わず、農村の現場に行く必要がある。事務所の机の上、紙の上だけで仕事をしてはいけない。これは精神の問題である。

この4つを実現できたら、合作（協力）は成功できると思う。私とのつきあいを意識していると思うんですけど、全くその通りだったと私も思います。背景も、文化も違いますから、日本でのように阿吽の呼吸とか、以心伝心なんてことは通じない。とにかく、自分の意見を主張し、少なくとも、何を考えているか、理解してもらうことが大切なんです。

その祁学峰が、ある時私のことを、「決断するのが、驚くほど早く、又、決めたことに責任をもつ」とほめました。後段はその通りだと思います。口にしたこと、決めたことを実現するために、綱渡りを続けてきました。しかし、前半は違います。私は何か目標を決めそのために努力するとかいうタイプではありません。はっきりいって優柔不断。明日できることは今日するな、というタイプ。祁学峰の言葉を契機に考え直してみると、日本では優柔不断にしているのに、大同ではかなり早く決断することが多い。長い間疑問のままだったんですけど、最近、ある言葉を契機に謎が解けました。やはり風土に関係があるのでしょう。日本は恵まれ過ぎていて決断しにくいんです。何かを決めるのは他の可能性を捨てることなのに、あれも欲しい、これも欲しい。例えば何かを実現するには、当然リスクを伴います。何かの巨大技術を立ち上げれば、事故の危険を背負わざるをえない。周囲の住民などは、経済的利益をうる代わりに危険を覚悟する必要がある。建設する側は、本来ならそのことをきちんと説明し、了解を求めないといけないのに、「絶対に安全です」などといってしまふ。具体的な現場では私は住民の立場に立つんですけど、考え方としては、「どっちもどっち」と思います。

大同では自然環境も社会的な環境も、日本では考えられないくらい厳しかったから、何か1つでも得られたらそれで御の字、他のことは一瞬にして諦める。それどころじゃない。ある意味で、協力事業自体いつやめることになっても仕方がないと、最初から覚悟を決めてました。いつも辞表を懐にいれているようなもので、その覚悟がないと振り回されます。こんなことを考える契機になったのは、『日中戦争見聞記—1939年のアジア』（コリン・ロス著、講談社学術文庫、2003年）の一節です。「日本人は他に色々のすぐれた特性をもっているが、一つだけ大きな欠点がある。日本人は何事も決定できず常に全てをしかも同時に望んでいるということだ」。なんということでしょう。みながサラリーマン化した最近の

現象かと思ったら、昔からそうだったという。根が深い。それに続けて「このことは経済面と同様、政治面、軍事面でもあてはまる。私の見解によれば、こうした欠点があるがために終局的に成果をあげつつ日中戦争を終わらせることにこれまで失敗してきた」。最近起こる事件や問題、全く同じ構造があるようです。

◆税制上の優遇措置をうける認定NPO法人 緑の地球ネットワーク (GEN)


552-001 大阪市港区市岡 1-4-24 住宅情報ビル 5F TEL.06-6576-6181 FAX.06-6576-6182

E-mail gentree@s4.dion.ne.jp URL <http://homepage3.nifty.com/gentree/>

◎40・41E (中国語) クラス会のご案内

- 1 日時 6月6日(金) 午後6時
- 2 場所 学士会館(神田錦町3-28) 301号室 (Tel 03・3292・5931)
- 3 ゲストスピーカー 高見 邦雄氏 (GEN「緑の地球ネットワーク」事務局長)
- 4 テーマ 「うしろ姿の北京は砂上の楼閣？」 5 会費 約7000円
- 6 連絡先 今回の幹事は浅川、柳原、村田忠、干場です。
40EはL1浅川、L2柳原、L3村田が、41Eは干場がそれぞれ連絡・集約します。
- 7 参考 「緑の地球ネットワーク」は1992年から中国・黄土高原で植樹など緑化協力を行っている非営利・非政府の民間団体です。これまで、その活動に対して
2001.9 国家友誼奨(中国政府)、2003.4 明日への環境賞(朝日新聞社)
2005.9 毎日国際交流賞(毎日新聞社) 等を受賞しています。
- 8 連絡・問合せ 浅川 章 E-mail w038007@tohoku-epco.co.jp Tel03-3231-3501

◎武村正義さん、あなたもですか！・・はみ出し東大生の一時避難所としての学増

昨年、一昨年とかつての学内アルバイト団体、学増(東大学力増進会・Z会とは別物)の同窓会が行われた。昭和24年頃スタートということでお年寄りが多く、盛況。還暦のはハナタレ。武村正義元大蔵大臣等の顔も。斉藤元大蔵事務次官も。血のメーデーの後の日本共産党、60年年安保後の全学連残党がそうだったように、全共闘敗残兵が身を隠して心身の傷を癒し、糊口をしのぐ場にもなった。懐かしい顔も沢山。獄中?十年、戦後直ぐの共産党書記長、徳田球一を知る老革命家の先輩も。

学内で高校生相手に講習会と添削指導をやる文指(東大文化指導会)は、バリケードの内側で受験指導をする訳にもいかず、自分で自分の首を絞めて潰れた。皮肉なことに文指の幹部と全共闘のそれはダブっていた。他方、私立高校を借りて中学生相手に講習会や模擬試験をやる学増(東大学力増進会)は生き残り、割のいいバイトの場として全共闘メンバーを経済面から支え、教授と対立し大学にも残れず、前歴から就職する訳にもいかず、その気にもならない、行き場のない全共闘敗残兵とモラトリアム学生の溜り場になった。

東大闘争の余波もあり経営と教学を分離、古参メンバーが株式会社を作り経営に当たり、教学メンバーはユニオンを組織、東大生の中からアルバイトを募り、教員を選考、養成し、教材作成、生徒指導に当たるシステムに変えた。会員の選挙で選ばれるユニオンの3名の運営委員や各教科代表になると、下手なサラリーマンより高給で、教科書作りと講師をする各教科5名ほどの教科書審議員でも、フルに働くときと妻子を養えた。そこから学者、官僚、弁護士、医師、企業家、作家等、沢山の才能が巣立った。

●も、同じML派の、諏訪市民病院の院長（鎌田實さんはその後任）から参議院議員になった、ユニオン代表の故今井澄安田講堂防衛隊長の推薦で、会員になった。後に受験競争が激化、アルバイト学生の組織では専門化・企業化する学習塾との競争に破れ、解散する羽目になった。●も最後の運営委員の一人として幕引きする。なまじ短時間働いて、まああまの金が手に入る“高級フリーター”に安住した結果、“市民社会”への復帰が遅れ、年金も雀の涙、還暦過ぎてもハッピーリタイアとは行かないが。

◎学増ユニオンOB会のお知らせ

昨年、一昨年と学士会館で拡大OB会が開催され、ユニオンOB会は開催のタイミングを逸してしまいました。拡大OB会とはまた違った味わいがあるので、再開します。

◇5月17日（土）午後6時～午後8時

◇ 会費 7000円

◇「京個室 辻が花」（台東区上野 1-20-11 鈴乃屋ビル 4F 上野黒門 しのばず屋別邸内、
Tel 03-3834-6820 ※「勝見」の名前で予約）

◇交通 JR上野駅不忍口徒歩5分、JR御徒町駅北口徒歩3分、地下鉄銀座線上野広小路駅A4番出口徒歩1分、都営大江戸線上野御徒町駅A4番出口徒歩1分

HP→<http://r.gnavi.co.jp/g600127/> 地図→<http://r.gnavi.co.jp/g600127/map1.htm>

◇2次会 午後8時30分ごろより2次会を予定。2次会から参加の方はご連絡下さい。

◇申し込み・お問い合わせ

幹事の勝見明氏（フリーライターとして、プレジデントなどで活躍、著書多数）まで
〒130-0004 東京都墨田区本所 4-20-3-402 tel 03-3624-0922 fax 03-3624-0952
携帯 090-2649-7688 e-mail: a-kats@sdf6.so-net.ne.jp

◎癌治療の温故創新・・・東大三鷹クラブ第78回定例懇談会のご案内

5月の定例会は、野村和弘さん（東京労災病院院長・前国立がんセンター中央病院院長・昭和37年入寮）に、御専門のがん治療についてのお話をさせていただきます。

私は、糖尿病、高血圧症などのため東京労災病院に通院し約20年になります。2年ほど前のある日、病院の領収書に野村さんの名前を発見し、驚き、かつ嬉しくなりました。以来、診療の後、院長室で雑談して帰るのが楽しみになりました。今回の講師の件も、そうした会話の過程で実現しました。

野村さんは、群馬県太田高校卒、ずっと医師を目指しておられました。1浪で群馬大医学部に合格しましたが、僅かのところで失敗した東大をあきらめきれず、背水の陣でさらに1年の予備校通いの後、昭和36年、目出度く理科Ⅱ類に入ることが出来ました。当初は、経済的な理由から、同じ年に学芸大に入学した弟さんと2人で自炊生活となりました。偶然にも下宿先は、タールがんで世界的に有名な病理学者、山際勝三郎東大教授の永福町のお宅でした。床の間つきの部屋をあてがわれ、御飯を炊く湯気などで床の間がいたんで来て、夫人から苦情が出たりしたそうです。

2年目に三鷹寮に入寮、西寮の3人部屋に入ったため、東寮の蚕棚生活の醍醐味を経験することはなく、通学と遅くまでのアルバイトばかりの1年で、同室の友人ともほとんど顔を合わすことのない毎日でした。そんな苦労の末、好成績で医学部試験をパスしました。バイト生活は相変わらずで、東大学力増進会で数学を教え、最低のクラスの力を大幅に引上

げること成功、生徒や母親に人気があったとのこと。折しも医学部に端を発した東大紛争の火が燃えさかりつつあり、後に安田講堂事件を指揮した今井 澄氏（故人）とも、インターン反対を共に闘いました。

野村さんの専門をうかがいますと、脳神経外科とのこと、直接の動機は、佐野教授の脳腫瘍についての治療法 **B u d R** に関する講義に深い感銘を受けたことによります。従来 6 カ月の命とされたこの難病に対して、がん細胞に抵抗できる物質を取込める作用のある薬品を脳に通ずる血管に注入する。当時としては画期的な発想でした。

野村さんは、卒業後医局でのインターンを拒否し、市中病院で初期研修をつづけました。昭和 47 年、東大脳神経外科の医局に入る話が持ち上がりました。皮肉にも、尊敬していた主任の佐野教授は、インターンをボイコットした奴など使えるかと難色を示されました。しかし、永井講師の強い推薦があり、何とか野村さんの医局入りが実現しました。

医局に 2 年間在籍した後、がんセンター勤務を経てカリフォルニア大学の研究室で 2 年半病理研究に従事しました。帰国すると再びがんセンターに復帰、爾来 65 才で中央病院の院長を定年退職するまで 30 年余の長きにわたり、わが国のがん治療の最先端で活躍されました。現在労災病院において新しい立場で手腕を発揮して居られますが、今回は専門分野での豊富な経験をもとに、有益なお話をお聞きできると期待しています。（平賀記）

日時：平成 20 年 5 月 30 日（金） 18 時 30 分～21 時 （終了後 2 次会あり）

場所：学士会館本館 203 号室（千代田区神田錦町 3-28 Tel 03-3292-5931）

会費：5000 円（会場費、夕食代・ビール代、通信費など込み）

申込先：平賀・干場 Fax 03-5689-8192 電話 03-5689-8182

（有）ティエフネットワーク Email: tfn-hoshiba@blue.ocn.ne.jp

◎三鷹寮新入生歓迎会盛況、ピザ一切れしか口に入らず！

4 月 12 日（土）の夕方、三鷹寮の新入生歓迎会。吉祥寺駅ビルロンロンで魚力で寿司を 3 万円分握ってもらい、寮までタクシーを走らせる。250 人くらいの参加者で、小さいホールは立錐の余地なし。🍷の持参分を含め食べ物は程なく、なくなる。🍷の口にはピザが一切れだけ。世話役の自治委員や、チューター役の院生はお腹を空かしているだろうと、終了後近くの和食ファミリーレストラン、華屋与兵衛で慰労する。

一人 3 千円で、20 人で腹一杯飲み食いしても 6 万円もあれば足りると踏むが、A から F の居住棟に分かれての二次会の費用が足りないと言う。2 万円カンパし、近くのセブンイレブンでキャッシングして軍資金を補充する。9 時過ぎから会場の片付けを終えた院生と慰労会。11 時頃に、棟毎の二次会を終えた 2 年生が入れ替わるようにやって来て、二回目の慰労会。それぞれ 10 人ほどを慰労、皆よく食べるが 6 万円ほど。

差し入れの寿司代は三鷹クラブの経費、あとは🍷のカンパ。だが、ワンルームマンションになり、今や、隣は何をする人ぞ？の寮生同士が交流を深め、いずれ三鷹クラブのネットワークの中核として活躍、社会にも貢献する人材に育てば、安い投資だ。（再見！）